



考えぬく。明日を動かす。

東燃ゼネラルグループ

2016（平成28）年08月18日

お知らせ

武藤社長『高圧ガス』誌へ寄稿

東燃ゼネラル石油株式会社 代表取締役社長 武藤潤が執筆した記事が、高圧ガス保安協会の機関誌『高圧ガス』の最新号（8月号）に掲載されています。「プラント操業におけるリスク・マネジメントー リスク・ベスト・アプローチの実践」と題するもので、その骨子は以下のとおりです。

- 工場を操業する上でリスクを完全になくすことはできない。限りあるリソース（ヒト、モノ、カネ）を最大活用し、許容できないリスクをゼロにする。
- 『プロセス・セーフティーのリスク・マネジメント(PSRM)』が重大事故の撲滅につながる。また、『安全文化の構築』が日々の安全操業を支える。
- PSRMの継続的改善のためのリソース投入と専門家の育成が重要である。
- 安全文化の構築にはトップの役割が大切である。経営陣を含めた従業員全員が『安全はコアバリュー』との信念をもって、安全操業に継続して注力する。
- 安全操業の追求は『終わりのない旅』であり、常に改善する努力を怠ってはならない。

なお、高圧ガス保安協会のご厚意により、当該記事をお読みいただくことが可能となっています。[こちらをクリックして](#)ご一読ください。

東燃ゼネラルグループについて

エッソ、モービル、ゼネラルのサービスステーションを全国に展開する当グループは、東燃ゼネラル石油株式会社を中心に、原油の調達、石油・石油化学製品の生産・販売、電力供給などを行なっています。環境負荷の低減に取り組みつつ、エネルギーの安定供給と優れた製品・サービスの提供を通じて、活力ある社会の発展に貢献したいと考えています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。

(<http://www.tonengeneral.co.jp/>)

EMGマーケティング合同会社 広報CSR統括部

電話：03-6713-4400